

# ケアセンターいぶき 2016 の方針

2016.7.21 畑野秀樹

畑野の方針表明+清水経営アドバイザーの計画書も統合した

## 医局

- ① 外来予約制・・・当日予約をしやすく。断ることをしない。ウェブ予約を早めに。バックアップ体制でできるだけ午後7時に終われるような体制に。
- ② 往診・・・できるだけ要望に応える。初回にいぶきに来なくても往診開始できるように
- ③ 医師をもう一人確保する努力・・・
- ④ 自治会のサロンへ啓発、健康教室への参加を増やす。自治会の地域のニーズを知る。
- ⑤ ケアセンターだより（診療所だより）の発行
- ⑥ 数値目標：80人

## 訪問看護

- ① 24時間365日体制をすでに実施してもらっている
- ② 断らない訪問看護を・・・往診（訪問診療）とのリンク
- ③ 病院MSWにあいさつ回り、ケアマネにあいさつ回り・・・みなしの訪問看護への理解
- ④ 数値目標：7件程度

## リハビリ

- ① 利用件数の増加を・・・外来リハ、訪問リハ、デイケア、老健リハ全て
- ② 多様なニーズに応える・・・社会参加を目標としながらも個別のニーズにこたえる。  
それが社会参加でなくても利用者の希望なら
- ③ 外来からできるだけリハに送る・・・外来リハから卒業あるいは介護保険への移行
- ④ 経営への参加のお願い・・・事務長に「見える化」してもらう。予防に力をシフトしたいが、まず施設経営がうまくいかななくては継続できない。

## 居宅

- ① 経営的には数字を出すことは難しい部署と認識（頑張ったことが数字に出ない）
- ② できるだけ断らない。要支援のケアマネを引き受ける。予防給付の受け入れ
- ③ しろいたの絆で、いぶきの居宅を米原市に強くPRしてもらう
- ④ 民生委員等との連絡体制を整える
- ⑤ 数値目標：130件

## デイケア

- ① 多機能で件数を増やしてもらう。
- ② リハ加算Ⅰ，リハ加算Ⅱ、時短デイを組み合わせる
- ③ 市内のケアマネ全員にあいさつ回り。ちらしをラミネートして宣伝する
- ④ 利用可能情報を関係機関に随時提供する
- ⑤ リハ学会、連携リハ学会等での発表を行う
- ⑥ 総合事業に手を挙げる
- ⑦ 他事業所のデイケアに視察に行ってもら（どう工夫しているか）
- ⑧ 数値目標：18人

## 老健

- ① 希望に対してできるだけNOと言わないように。「なんとかする」
- ② それぞれのケアマネ事業所にあいさつに行ってもら
- ③ 病院の地域医療連携室にあいさつに行ってもら
- ④ 学会発表等で外部への発信を行う
- ⑤ フェイスブックで情報発信を随時
- ⑥ 認知症カフェの開催。地域で活躍するリーダーを増やす
- ⑦ 外部講師の招へい。自主的な勉強会を増やす
- ⑧ 介護士の他施設への人材派遣（人件費率80%超）。
- ⑨ 交流研修を盛んに（今のいぶきが最先端ではないことを実感してもら、謙虚に学びに行ってもら）
- ⑩ 数値目標：55.5床（ショート30床は維持）

## 事務

- ① 予約外来システムなど電話対応・・・スマホ予約などで負担軽減策
- ② 夜間・休日窓口の無人化・・・本当にいなくなってもいいのか十分に検討を。
- ③ 研修医・学生の生活面での対応は、事務長に一括対応をお願い。貴重な人材として育成を。(プログラム面は臼井先生に任せたい)。
- ④ 会議室を、一般市民に開放できないか？ 外部に開かれた施設に。
- ⑤ 作業所のパン屋さんが来る時間を広報などして、市民の利用を促す
- ⑥ 新しい事業の展開を・・・24時間対応のヘルパーステーションができないか？（訪問看護介護ステーションが設立できないか） 若年性認知症の就労斡旋支援ができないか（デイケアの立ち上げ）
- ⑦ 委託事業見直し、ユニフォーム更新の見直し、健康診断の見直し（施設内）、照明器具の省エネ化（LED）、職員定数の見直し、人件費の見直し
- ⑧ 業務改善委員会（仮称）の設置